

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公表番号】特表2007-509627(P2007-509627A)

【公表日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-015

【出願番号】特願2006-538088(P2006-538088)

【国際特許分類】

A 2 3 G 3/02 (2006.01)

A 2 3 G 1/04 (2006.01)

【F I】

A 2 3 G 3/02

A 2 3 G 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月9日(2008.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

底面と、当該底面を囲む外側の側面とを有しており、流動性材料を収容するように形成されたボウル部と、

前記ボウル部内の流動性材料を加熱するように形成された加熱要素と、

最上端部と底端部とを有し、当該底端部が前記ボウル部の底面の近傍にあり、そこから前記底面に実質的に垂直に延びるシリンダーであって、当該シリンダーは、第 1 の場所が第 1 の外径であり、かつ前記第 1 の場所より下の第 2 の場所の外径が前記第 1 の場所の外径より大きくなるようにシリンダーの表面が画定され、当該シリンダーの表面は、前記第 1 の外径と実質的に等しい直径の開口部を有する構造体を支持するように構成されているシリンダーと、

螺旋形羽根部を有するオーガーであって、当該オーガーの長さに沿って延びる複数の回転部を備え、前記シリンダー内に配置されるオーガーと、

前記オーガーに連結され、前記シリンダー内において前記オーガーを回転させるように形成されており、前記螺旋形羽根部は、前記オーガーが回転すると流動性材料を支持し、前記シリンダーを上方へ流動性材料を進める、回転源と、
を備える装置。

【請求項 2】

前記シリンダーの表面には、段状受け部が画定されている請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記構造体は、前記シリンダーの表面と係合するように形成された切欠を含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 4】

前記流動性材料は、前記シリンダーの最上端部から前記構造体の上面を流れ、下方の前記ボウル部へ流れるように構成される請求項 1 に記載の装置。

【請求項 5】

前記構造体は、前記構造体の外側周縁が前記ボウル部に向かって湾曲した形状のボウルである請求項 1 に記載の装置。

【請求項 6】

前記流動性材料は、溶けたチョコレートを含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 7】

前記回転源は、モーターを含む請求項 1 に記載の装置。

【請求項 8】

前記モーターは、前記オーガーに平行な軸を回転させるように構成され、また、駆動軸が前記オーガーを回転させるように、前記駆動軸およびオーガーにベルトが連結される請求項 7 に記載の装置。

【請求項 9】

前記モーターは、前記オーガーと直接係合する前記駆動軸に連結される請求項 7 に記載の装置。

【請求項 10】

前記シリンダーの最上端部の近傍に配置されたクラウンをさらに備え、流動性材料が、前記シリンダーの最上端部から前記クラウン、次いで前記構造体の上面に流れる請求項 1 に記載の装置。

【請求項 11】

流動性材料が流れる前記クラウンの表面には、実質的に溶接による人為的なものがない請求項 10 に記載の装置。

【請求項 12】

前記クラウンの一部分は、前記シリンダーの最上端部より下を延び、前記クラウンは、前記装置の作動中に、前記シリンダーの最上端部より下を延びる前記クラウンの一部分と流動性材料が接触しないように構成される請求項 10 に記載の装置。

【請求項 13】

前記シリンダーに装着され、流動性材料が第 2 の構造体の上面を流れるように構成された前記第 2 の構造体をさらに備える請求項 1 に記載の装置。

【請求項 14】

前記シリンダーに装着され、流動性材料が第 3 の構造体の上面を流れるように構成された第 3 の構造体をさらに備える請求項 13 に記載の装置。

【請求項 15】

溶けた食品を循環させる装置を組み立てる方法であって、

シリンダーをボウル部に、前記シリンダーが前記ボウル部の底面と隣接した場所から実質的に垂直に延びるように装着するステップであって、前記シリンダーは、前記シリンダーの外側の面の所定の場所に形成された段状受け部を備える、装着ステップと、

前記シリンダーの最上端部を入れる開口部を有する段部を前記シリンダーに配置するステップであって、前記開口部は、前記段部が所定の場所において前記シリンダーの外側の面に形成された段状受け部と係合するような大きさである、配置ステップと、を含む方法。

【請求項 16】

前記段部は、前記段状受け部と係合するように形成された切欠を含む請求項 15 に記載の装置。

【請求項 17】

底面と、当該底面を囲む外側の側面とを有しており、溶けたチョコレートを収容するように形成されたボウル部と、

最上端部と底端部とを有し、当該底端部が前記ボウル部の底面の近傍にあり、そこから前記底面に実質的に垂直に延びるシリンダーであって、当該シリンダーの最上端部の外径は、前記シリンダーの底端部の外径よりも小さいシリンダーと、

前記シリンダー上の所定位置における段部との係合手段と、

螺旋形羽根部を有するオーガーであって、当該オーガーの長さに沿って延びる複数の回転部を備え、前記シリンダー内に配置されるオーガーと、

前記オーガーに連結され、前記シリンダー内において前記オーガーを回転させるように

形成されており、前記螺旋形羽根部は、前記オーガーが回転すると前記溶けたチョコレート支持し、前記シリンダーを上方へ前記溶けたチョコレートを進める、回転源と、を備えるチョコレートファウンテン。

【請求項 18】

前記係合手段は、前記シリンダーのテーバーがつけられた部分を含む請求項 17 に記載のチョコレートファウンテン。

【請求項 19】

前記係合手段は、前記シリンダーの溝を含む請求項 17 に記載のチョコレートファウンテン。

【請求項 20】

前記係合手段は、前記シリンダーの段状受け部である請求項 17 に記載のチョコレートファウンテン。

【請求項 21】

前記段部は、前記段状受け部と係合するように形成された切欠を含む請求項 20 に記載のチョコレートファウンテン。

【請求項 22】

前記オーガーは、プラスチックを含む請求項 17 に記載のチョコレートファウンテン。

【請求項 23】

前記ボウル部の少なくとも一部分に連結され、前記ボウル部の少なくとも一部分に熱伝達を行うように構成された加熱装置をさらに含む請求項 17 に記載のチョコレートファウンテン。

【請求項 24】

前記ボウル部の外周の直径は、約 475 mm より大きいと等しい請求項 17 に記載のチョコレートファウンテン。

【請求項 25】

底面と、当該底面を囲む外側の側面とを有しており、流動性材料を収容するように形成されたボウル部と、

前記ボウル部内の流動性材料を加熱するように形成された加熱要素と、

最上端部と底端部とを有し、当該底端部が前記ボウル部の底面の近傍にあり、そこから前記底面に実質的に垂直に延びるシリンダーであって、当該シリンダーは、第 1 の場所において前記シリンダーの円周周りに溝を含み、前記シリンダーの前記第 1 の場所において構造体が支持されるシリンダーと、

螺旋形羽根部を有するオーガーであって、当該オーガーの長さに沿って延びる複数の回転部を備え、前記シリンダー内に配置されるオーガーと、

前記オーガーに連結され、前記シリンダー内において前記オーガーを回転させるように形成されており、前記螺旋形羽根部は、前記オーガーが回転すると流動性材料を支持し、前記シリンダー内を上方へ流動性材料を進める、回転源と、を備える装置。

【請求項 26】

前記溝は、支持部材を保持するように形成される請求項 25 に記載の装置。

【請求項 27】

前記シリンダーと溝とは、前記構造体を支持するように協働する請求項 25 に記載の装置。

【請求項 28】

前記構造体は、前記構造体の外周が前記ボウル部へ向かって湾曲するようなボウル状である請求項 25 に記載の装置。

【請求項 29】

前記構造体は、段部を含む請求項 25 に記載の装置。

【請求項 30】

流動性材料を収容するように形成されたボウル部と、

前記ボウル部に実質的に垂直に取り外し可能に取り付けられ、前記流動性材料を収容するように形成されたシリンダーと、

前記ボウル部内の流動性材料を前記シリンダー内で上方へと移動させ、前記流動性材料を前記シリンダーのトップへ移動させた後に、前記シリンダーの外側流路を経て前記流動性材料のほぼ全てを前記ボウル部に戻すプラスチック製のオーガーと、
を備える、ファウンテン。